



## 11月16日～11月29日の活動報告

### ●北陸選出自民党国会議員との懇談会

日時：11月16日(水) 7:30-8:45  
場所：ホテルニューオータニ(東京)  
参加者：18名(議員13名、当会5名)

北陸選出の自民党国会議員との懇談会を開催し、当会からは、金井会長、林副会長をはじめ5名が出席した。当会は、今年度の政府に対する北陸経済界からの重点要望事項である安全性が確認された原子力発電所の早期再稼働等のエネルギー対策、北陸新幹線の早期全線開通を中心に要望した。

出席した議員からは、

- ・北陸新幹線に関して、「敦賀以西 2023 年度当初の着工が厳しいことは認めざるを得ない。そうした中で、設計、用地取得等の着工認可後に行う作業については、事前に進めていくことが早期全線開業につながる。北経連には、関西経済界と連携し、関西の機運醸成に努力してほしい」
  - ・エネルギーに関して、「原子力の運転期間について、上限一律 60 年撤廃や、停止期間を含めない等が議論されている。今あるものを有効かつ長期的に使用していくことは、エネルギーの安定供給、安全保障の面で重要であるため、早期再稼働も含めてしっかりと対応していく」、「今年の骨太の方針に審査の効率化が織り込まれ、規制行政の大きな転換である。効率的な審査につながるよう、規制委員会の取組みをチェックし働きかけていきたい」
- 等の意見をいただいた。また、北陸三県協力による並行在来線の活発化、デジタル人材育成に向けた取り組み強化、物流業界における働き方改革等についてコメントいただいた。



(担当：小林)

### ●北陸新幹線建設促進大会・中央要請

日時：11月16日(木)  
会場：明治記念館(東京) 他

北陸新幹線建設促進大会が開催され、沿線 10 都府県の国会議員、知事、議会、経済団体など 280 名が出席した。敦賀・新大阪間の 2023 年度当初の着工など北陸新幹線の整備促進を求める決議が採択された。金井会長も発言し、国土強靱化や経済効果の観点から、大阪までの全線開業の必要性を強調した。

大会終了後、北陸新幹線建設促進同盟会、北陸経済連合会などの 5 団体が合同で、額賀与党整備新幹線建設促進 P T 座長、斉藤国土交通大臣、遠藤自由民主党総務会長などと面談し、大会での決議内容について要望した。



(担当：高島)

### ●第 49 回北陸地方経済懇談会(経団連との懇談会)

日時：11月17日(木) 14:00-16:00  
会場：ANA クラウンプラザホテル富山(オンライン併催)  
参加者：110名(来場 73名、オンライン 37名)

(一社)日本経済団体連合会との第 49 回北陸地方経済懇談会を開催し、『『スマート・リージョン北陸』を目指して～持続可能な地方創生を实践する～』を基本テーマに意見交換が行われた。

開会挨拶で金井会長は、「スマート・リージョン北陸」の実現に向けた取り組みの要点を説明。①社会基盤整備の促進、②労働生産性の向上と成長、③「ダイバーシティ&インクルージョン」のブランド化の推進について現在の取組状況を述べ、経団連との意見交換に大きな期待を示した。

続いて経団連の十倉会長は、GX や DX 推進等をはじめとする取り組みを挙げ、今年の経団連の事業方針である「持続可能な資本主義の实践する」を目指していくと述べた。

懇談会では、①社会基盤整備の促進、②労働生産性の向上と成長、③ダイバーシティ&インクルージ

ョンの促進の3テーマのもと、経団連役員との活発な意見交換が行われた。

その後、経団連との共同記者会見において、金井会長は、北陸新幹線の大阪までの全線開業の意義として自然災害等の太平洋側有事の際の首都圏と関西圏を結ぶ代替機能や経済効果について発言し、経団連十倉会長から「ゴールデンループ」(東京=大阪間の観光ルート「ゴールデンルート」と北陸新幹線ルートを環状に結んだルート)について挙げ、「費用対効果の面からもぜひやるべきだ」と発言された。

翌18日には、経団連役員と金井会長が富山県滑川市の(株)スギノマシンを訪問。同社の杉野良暁社長の挨拶と、杉野岳副社長から事業内容などの説明があった後、高圧の水を噴出して材料を切断するウォータージェット機や、原子力発電所の廃炉作業に使用する小型ロボットなどを見学した。



(担当：小玉)

### ●Matching HUB Hokuriku 2022 への出展

日時：11月17日(木)・18日(金)

会場：ANA クラウンプラザホテル金沢

北陸先端科学技術大学院大学(寺野稔 学長)主催の産学官金連携マッチングイベント「Matching HUB Hokuriku 2022」が開催され、企業や大学等から多数の参加があった。北経連からは初日のオープニングで金井会長の祝辞ビデオメッセージを送った。2日目のパネル展示ではブース出展し、北陸地域の高シェア企業を紹介する冊子「シェアトップ150」を

配布した。



(担当：坂井)

### ●第9回 関西・北陸交流会

日時：11月21日(月)14:00-16:00

会場：ホテルグランヴィア京都

JR西日本主催、第9回関西・北陸交流会がホテルグランヴィア大阪にて開催された。来賓挨拶として、京都府から西脇知事、福井県から杉本知事が登壇した。その後『文化の地から、未来の力を』～北陸新幹線が切り拓く、文化交流と新たな価値創造～」をテーマにパネルディスカッションが行われた。また経済4団体からの挨拶として、関西経済連合会の松本会長、京都商工会議所の塚本会頭、大阪商工会議所の東副会頭、当会からは金井会長が登壇。金井会長からは北陸と関西との結びつきについて、北陸新幹線の全線開業効果について発言し、太平洋側有事の際の首都圏と関西圏の代替機能や経済波及効果について挙げ、大阪までの早期全線開業を強くアピールした。



(担当：小玉)

### ●北陸進出企業に学ぶ企業誘致勉強会

日時：11月22日(火)10:30-11:30

形式：オンライン開催

参加者：54名

今年度第3回勉強会は、石川県志賀町に進出された(株)ハイレゾ代表取締役社長の志倉喜幸氏より、「県・市区長村とベンチャーの新たな産業づくり」

と題して、ご講演いただいた。

ハイレゾは、進出当初は資本金1,000万円のベンチャー企業であったが、その後、志賀町にGPUデータセンターを開設するなど事業開拓を進め、現在は資本金9億5,600万円の企業に成長。

志倉氏は、志賀町に進出を相談していく中で、志賀町から受けた課題に、一時、心が折れるような時もあったものの、町や県など自治体のベンチャー企業に対する温かい理解、補助金等の確実な支援、そして地元大学の紹介(共同研究)等もあり地元定着に向けて着実に進んできたことを説明。あわせて、自治体等に対して、ベンチャー企業の受入れ体制を整えていただいたことへの感謝の言葉もあった。

最後に、石川県商工労働部産業立地課企業誘致グループ 小坂拳介氏から誘致の経緯や県・町の支援について説明があった。

今回の勉強会は、企業の誘致・受入れにあたり、地元として、何を大切にしていかなければいけないのか考えさせられる大変良い機会となった。

(担当：岩田)

### ●会員懇談会(福井会場)

日時：11月24日(木) 14:30-17:30

会場：福井県民ホール(オンライン併催)

参加者：来場31名、オンライン30名、交流会25名



今年度の会員懇談会は「北陸近未来ビジョン」で掲げる「スマート・リージョン北陸の実現にむけて」を統一テーマとし、今回の福井会場では「カーボンニュートラル」をテーマに講演会を行った。

金井会長の挨拶の後、国立研究法人 産業技術総合研究所からお二人が登壇。最初に、執行役員兼エネルギー・環境領域の領域長 小原春彦氏より「カーボンニュートラルに向けた取組とビジネスチャンスについて」と題して、同研究所のコア技術の基盤技術分野のうち、成長産業分野で「カーボンニュートラル」の最先端の技術開発状況や、それらの研究開発が北陸の企業にとってどのようなビジネスチャ

ンスに繋がる可能性があるのか等をお話し頂いた。引き続き、理事兼執行役員の栗本聡氏からは「産総研の北陸地域における連携強化について」と題し、2023年6月頃に福井県坂井市に開所予定の同研究所の新たな拠点のコンセプトや今後の具体的な取り組み案などもお話し頂いた。

花王(株)ESG部門ESG活動推進部部長 柴田学氏は「花王の脱炭素経営」の演題で登壇。同社は2040年のカーボンゼロ、2050年にはカーボンネガティブを目指しており、2022年脱炭素経営ランキングでは2位に選ばれた。その先進的な取り組みについてご講演頂いた。

講演後、八木副会長は閉会挨拶において、冒頭に「カーボンニュートラルは非常に難しい目標ではあるが、それがあがる意味では技術が進歩する大きなきっかけになるだろう」と述べ、最後に「北陸はモノをつくることに長けているエリアであり、北陸地域を新しいモデルを作っていくための最先端エリアにしていきたい、会員企業の皆さまと共にこの地域を盛り上げていきたい」と述べた。

講演終了後、会員の交流会が行われた。

(担当：渡辺)

### ●2022年度 第2回人財活躍推進委員会

日時：11月25日(金) 15:30-17:00

会場：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

参加者：9名(会場5名、オンライン4名)

委員会の始めに八木委員長から挨拶があり、域外の副業・兼業人材を受入れる動きが北陸でも広がりつつあることに言及。外部人材の持つノウハウや価値観を取り込み、企業の成長につなげることが重要であると指摘した。

事務局が事業計画の実施状況を説明した後、意見交換では、10月から始まった「産後パパ育休」に関連して、委員からは男性育休に関する意見が多数あった。多くの男性が育休取得を希望しているが、実際には取りにくい、取得しても短期間の取得にとどまるといった現実がある。長期の休業を快く受け入れる職場づくり、上司の教育、不在時に周囲がサポートできるように日頃から職務を棚卸しておくなどの環境整備の重要性を、多くの委員が指摘した。

また、多様な人材が活躍し成長していくためには、男女間、世代間、上司部下、マネージャーと高齢のメンバーなど、さまざま立場の間にあるアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を見直す必要性の指摘もあった。

さらには高齢者や障がい者の雇用、エンゲージメント向上など話題は多岐にわたり、人手不足だけでなく、企業価値の向上や持続的な成長の観点からも人的資本経営を重視する発言が相次いだ。委員会での議論を受けて、今後の事業に反映させていく。



(担当：日野)

### ●特定技能外国人労働者に関するセミナー

日時：11月28日(月) 15:00-16:00

形式：オンライン開催

参加者：27名(会場9名、オンライン18名)

北陸での「特定技能外国人労働者」の受け入れ状況について企業等での理解促進を図るため、菅原行政書士事務所の菅原純平氏をお招きし、「特定技能外国人急増の背景と北陸での受け入れ事例」と題してご講演いただいた。

菅原先生からは、まず現状の説明があった。日本の外国人労働者約173万人のうち、約11万人が特定技能外国人で、ここ1年で約7万人増。特にベトナム人が約6万人で、特定技能外国人の6割近くを占めている。業種としては飲食料品製造業、産業機械・電気・電子情報関連製造業、介護の3つのウェイトが高いと説明。

また、北陸三県では、特定技能より技能実習生への依存度が高いと指摘。人手不足が深刻化している中、生産性向上や人材確保のため2019年4月に特定技能制度が創設されたことについて説明があった。

北陸での特定技能の導入事例について紹介。成功事例として、①経営者が積極的に採用し、本人とコミュニケーションを定期的にとっていること、②技能実習生等とあわせ、3つ、4つの在留資格を適切にうまく活用していること、③給与体系、キャリアアップ等について本人に明確に提示していることの3点が特定技能の採用・定着に着実に繋がっていると述べた。

今回の講演を通じ、特定技能制度の活用意義、重要性について認識を新たにできたものと思われる。



(担当：岩田)

### 今後の行事予定

#### ◆2022年度 第2回国際委員会

日時：12月2日(金) 12:00-13:30

場所：ホテル金沢(オンライン併催)

対象：委員(案内済)

(担当：小島)

#### ◆中部・近畿経済産業局との懇談会

日時：12月6日(火) 12:30-15:00

場所：ザ・グランデュアーズフクイ(オンライン併催)

対象：役員(案内済)

(担当：宮西)

#### ◆2022年度 第2回観光委員会

日時：12月7日(水) 12:00-14:00

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

対象：委員(案内済)

(担当：鳥山)

#### ◆2022年度 第2回 社会基盤委員会

日時：12月9日(金) 12:00-14:30

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

対象：委員(案内済)

(担当：小玉)

#### ◆社会基盤委員会 物流DXオンライン講演会

第2回社会基盤委員会で、物流DXに関する講演を実施しますが、講演部分のみを全会員対象にオンライン配信をいたします。

日時：12月9日(金) 13:15-14:30

形式：オンライン(Teams ライブイベント)

演題：「物流DXを知り、業務の効率化に活用する方法」(株)NX総合研究所 宮里隆司氏

対象：全会員

詳細：

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/2c7e0a64c1bb4635168d50f2501830fa.pdf>

申込：〆切済み

(担当：高島)

#### ◆2022年度 第2回総合対策委員会

日時：12月14日(水) 12:00-14:00

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

対象：委員に案内済

(担当：小林)



## ◆第355回常任理事会

日時：12月21日(水) 15:00-16:30  
 場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)  
 対象：副会長、常任理事に案内済  
 (担当：小山)

### お知らせ

#### ■富山県からのお知らせ

##### 「とやま女性活躍企業」のご紹介

富山県では、女性が活躍しやすい職場づくりを後押しするとともに、「選ばれる」企業としてのブランド力向上と優秀な人材確保を支援するため、今年新たに「とやま女性活躍企業」認定制度を創設し、9月1日に32社を認定しました。

認定企業を紹介するリーフレットを作成しましたので、ご覧ください。

・「とやま女性活躍企業」について

<https://www.pref.toyama.jp/101703/20220901.html>

・認定企業の紹介リーフレット

<https://www.pref.toyama.jp/documents/28286/panph.pdf>

(担当：日野)

#### ■北陸総合通信局からのお知らせ

##### 「サイバーセキュリティセミナー2022」の開催

【日時】12月16日(金)14:00-16:30

【場所】金沢商工会議所大会議室(オンライン併催)

【内容】

「サイバーセキュリティにおける人材育成について」

日本電気(株)サイバーセキュリティ戦略統括部

エグゼクティブエキスパート 武智洋氏

「中小企業におけるサイバーセキュリティの取組事例について」

グローバルビジネスソリューションズ(株)

代表取締役社長 白岡健氏

事例紹介「サイバー攻撃における事例及び対策」

北陸通信ネットワーク(株)、(株)PFU

【共催】北陸サイバーセキュリティ連絡会、北陸総合通信局 他

【後援】北陸経済連合会 他

【詳細】

[https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2022/pre221116\\_01.html](https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2022/pre221116_01.html)

【定員】会場40名、オンライン70名

【申込】12月14日までに下のフォームから申込み

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/W\\_N\\_wJAuhMq-QU2Y6p9TyxLrEQ](https://us06web.zoom.us/webinar/register/W_N_wJAuhMq-QU2Y6p9TyxLrEQ)

【問合せ】北陸サイバーセキュリティ連絡会・事務局

TEL:076-233-4420

Mail: [security-hokuriku@soumu.go.jp](mailto:security-hokuriku@soumu.go.jp)

(担当：坂井)

#### ■金沢工業大学からのお知らせ

##### 2022年度 組織活性化に向けたDXリスキル教育プログラム「オンデマンド学習」の受講者募集

社会人を対象に「AI」「IoT」「DS」の3つのデジタル技術に関する基礎知識とスキルを自宅や職場で学べる「オンデマンド学習」の受講者を募集しています。

【内容】

入門(4時間)・基礎(5時間)・応用(6時間)を選択受講する。全て選択して受講も可。

【開講期間】12月5日～2023年3月3日

【定員】入門・基礎・応用で各130名

【対象】業種を問わず就業中の方でデジタル技術を活用した業務に興味がある初心者

【受講料】2022年度に限り無料

(アンケート等にご協力頂きます)

【詳細】

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/rec/dxreskill/>

【申込】2023年1月31日までに下のURLより申込書を提出(定員に達し次第締切)

[https://www.kanazawa-](https://www.kanazawa-it.ac.jp/rec/dxreskill/entry.html)

[it.ac.jp/rec/dxreskill/entry.html](https://www.kanazawa-it.ac.jp/rec/dxreskill/entry.html)

【問合せ】金沢工業大学 DXリスキル教育プログラム担当窓口(大学事務局 共創教育推進室)

TEL:076-294-6743

Mail: [dx-rec@mlist.kanazawa-it.ac.jp](mailto:dx-rec@mlist.kanazawa-it.ac.jp)

(担当：坂井)

#### ■留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」からのお知らせ

##### 「Link KAGAYAKI コンソーシアム キックオフ」

北陸地域における産学官金プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」の事業の一つとして、高度外国人材である外国人留学生の北陸地域への就業・定着を目的とした、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」のキックオフイベントが下記のとおり開催されます。

【日時】12月8日(木)10:00-12:00

【場所】金沢商工会議所1階ホール

【内容】金沢大学 和田学長ご講演

外国人留学生採用企業 事例紹介

##### 「留学生北陸3県合同企業説明会」

北陸3県の大学・大学院に在籍する外国人留学生を対象とした合同企業説明会が開催されます。

【日時】12月8日(木)13:30-16:00



【場所】金沢商工会議所 2階 研修室 1  
 【詳細・申込】いずれのイベントも詳細・申込は下の URL をご覧ください  
<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/news/>  
 (担当：高島)

■SUFEX TRADING からのお知らせ  
 「業界別ベトナム最新概況と現地工業団地の今」

SUFEX TRADING、並びに在大阪ベトナム総領事館 商務部は上記セミナーを開催いたします。

2011年より日本国内で毎年開催している本セミナーでは、ベトナム工業団地ディベロッパーおよび進出製造業をサポートする企業 18社が登壇。ベトナム製造業の最新ビジネス情報を、参画企業各社の視点から解説します。また会場参加者のみ、セミナー終了後に名刺交換会を予定しております。

【日時】  
 <東京会場>全2回、リアル開催  
 12月5日(月) 13:00-16:30(日本時間)  
 12月7日(水) 13:00-16:30(日本時間)  
 <大阪会場>全2回、リアル&オンライン開催  
 12月8日(木) 13:00-17:00(日本時間)  
 11:00-15:00(ベトナム時間)  
 12月9日(金) 13:00-17:00(日本時間)  
 11:00-15:00(ベトナム時間)

※後日オンデマンドでも配信予定  
 【会場】  
 <東京>大和ハウス工業株式会社  
 (東京都千代田区飯田橋 3-13-1)  
 <大阪>あべのハルカス 23階(阪南大学キャンパス)  
 (大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43)

【主催】SUFEX TRADING、  
 在大阪ベトナム総領事館商務部  
 【協力】日本経済新聞社 グローバルユニット  
 【後援】KDDI VIETNAM CORPORATION  
 【定員】会場 100名 ※1社2名様まで  
 【申込】下のウェブサイトより申込み  
[セミナー | Sufex Trading](#)

【問合せ】SUFEX TRADING CO., LTD.  
 TEL : +84-(0)28-3911-7771  
 Mail : Media@sufextradingvn.com  
 (担当：小島・高道)

■ジェトロからのお知らせ  
 2023年世界経済の展望～ジェトロ事務所長が語るグローバルビジネスの行方～

ジェトロでは、世界各国の海外事務所長が業務一時帰国をする年末の機会を捉え、不確実性が高まる世界経済の2023年を現地の視点から展望するセミ

ナーを全2回シリーズにて開催します。  
 <第1回：米国・中国・ASEAN・インド>  
 【日時】12月8日(木)10:00-12:00  
 【オンデマンド配信】12月15日(木)～2023年2月15日(水)予定  
 【内容】ニューヨーク・北京・バンコク・ニューデリーの事務所長が4ヵ国・地域における2022年の振り返りと2023年の展望を報告。米中対立の影響とサプライチェーンの変化、EV市場の動向を含めたグリーン成長を巡る動きなどについて、パネル形式で議論。

<第2回：ロシア・欧州>  
 【日時】12月14日(水)14:00-16:00  
 【オンデマンド配信】12月21日(水)～2023年2月21日(火)予定  
 【内容】  
 第1部：モスクワ事務所長が2023年のロシアの経済見通しおよびビジネス環境、進出外国企業の動向について解説。  
 第2部：ブリュッセル・ベルリン・パリ・ロンドンの事務所長が、エネルギー政策を中心にEU・ドイツ・フランス・英国における注目の政策や課題など、最新状況を解説。

<各回共通>  
 【会場】ジェトロ本部 5階A・B会議室  
 (東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル)  
 ※オンラインライブ配信併催  
 【主催】ジェトロ  
 【対象】日本国内の方  
 【定員】会場 50名(先着順)  
 【受講料】一般 4,000円/ジェトロ・メンバーズ 2,000円  
 【詳細・申込】

<第1回>  
[https://www.jetro.go.jp/events/ora/0ef38a00cf35b59e.html?utm\\_source=newsletter&utm\\_medium=email&utm\\_campaign=ORA221208event](https://www.jetro.go.jp/events/ora/0ef38a00cf35b59e.html?utm_source=newsletter&utm_medium=email&utm_campaign=ORA221208event)

<第2回>  
[https://www.jetro.go.jp/events/ora/efafe9c01fdb8d39.html?utm\\_source=newsletter&utm\\_medium=email&utm\\_campaign=ORA221214event](https://www.jetro.go.jp/events/ora/efafe9c01fdb8d39.html?utm_source=newsletter&utm_medium=email&utm_campaign=ORA221214event)

※両日とも参加希望の方は、各回それぞれで申込みが必要  
 【問合せ】ジェトロ海外調査企画課  
 セミナー/ウェビナーチーム  
 TEL : 03-3582-5189  
 Mail : [oraseminar@jetro.go.jp](mailto:oraseminar@jetro.go.jp)  
 (担当：小島・高道)

以上